

医師 3 年目以降のトランジショナル研修について

1. はじめに

- ・新専門医制度が始まりましたが、研修医の中には、「まだ将来の専門科を決められず、初期研修 2 年間で不足している部分を補うような研修がしたい」、「将来の専門分野で役に立つ他の診療科の研修を 3 年目以降にやっていきたい」など、初期研修修了後の進路を考える上で、すぐに新専門医制度に移行することを希望しない医師もいます。
- ・医師として 3 年目以降も自己研鑽し、安全で質の高い医療を提供していきたいと考えることは当然のことであり、その学習（研修）方法に幅を持たせた 3 年目以降の研修スタイルを提案します。

2. プログラム

2-1. 概要

- 初期研修修了後の医師を対象に、松本協立病院を基幹施設とした、3 年間の研修を行います。
- 連携施設は、長野県民医連の病院・施設の他、研修医が希望する病院・施設と当院間で合意が得られた場合、連携施設として研修が可能です。
- 研修医の身分は、長野県民医連専門医制度専攻医規程に準じ、本プログラムにて採用した基幹施設に属します。また、給与、各種手当、住居確保に伴う費用については、長野中央病院内科専門研修プログラムの規程に準拠します。
- 研修内容は、指導医・上級医と相談の上、研修医の希望も含め、個別にプログラムを作成します。研修医として定期的な振り返りの機会を持ち、評価やフィードバックを受ける環境を保障します。
- 研修期間中に、松本協立病院・総合診療科プログラム、長野中央病院・内科・総合診療科プログラムに移行を希望する際は、指導医との面談を行い、双方の了承が得られた場合、何年目でも移行が可能です。
- 3 年間の研修後、更なる追加研修・技術等修得が不十分な場合、研修期間を 1 年単位で延長します。

2-2. 対象

研修開始時点で初期研修を修了している医師が対象です。